

2020年8月20日

周産期科女性診療科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 進行上皮性卵巣癌に対する術前化学療法の至適レジメンに関する
後方視的検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 金西 賢治 母子科学講座周産期学婦人科学

この研究は、兵庫県立がんセンターを主幹機関とする多施設共同研究として行います。

[研究の目的]

卵巣癌(卵管癌、腹膜癌も含みます)の治療において、癒着や播種の状態によっては初めに全てを取り切る手術(根治術と言います)を行うことが難しいことがあります。その場合、いったん抗がん剤で腫瘍を縮小させてから根治術を行う方法があり、これを術前化学療法と言います。術前化学療法で使用する薬剤の組み合わせは何通りもあり、現在、国内でも統一されてはいません。そこで、私たちは各医療機関でどのような術前化学療法が行われているのか、また、その効果はどうかということをお客様の診療情報からデータを集め、より良い術前化学療法について複数の施設で協力して調べたいと考えています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2007年1月1日から2016年12月31日に当院産婦人科にて卵巣癌/卵管癌/腹膜癌治療を受けた方で根治手術の前に化学療法を行った方。

○利用する検体・診療情報

診療情報：診断名、年齢、進行期、病理組織結果、術前化学療法の治療内容、治療開始時の全身状態に関する情報、根治術でがんが取り切れたかどうか、術後化学療法の内容、根治術後に再発があったかどうか、現在の状態について

[外部への検体・診療情報の提供]

この研究に使用する情報は、兵庫県立がんセンターに提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、兵庫県立がんセンターに電子的配信させていただきます。

[研究組織]

三海婦人科癌スタディグループ (S G S G) 参加 28 機関

公式ホームページ <http://www.sgsg.biz/>

[研究代表者]

兵庫県立がんセンター 婦人科 長尾 昌二

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院周産期科女性診療科 担当医師 金西 賢治

電話 087-891-2174 FAX 087-891-2175